

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-098569
(43)Date of publication of application : 09.04.1999

(51)Int.Cl. H04Q 7/38
H04M 1/00
H04M 3/42
H04M 3/50

(21) Application number : 09-256845

(71)Applicant : TOSHIBA CORP
TOSHIBA COMPUT ENG CORP

(22) Date of filing : 22.09.1997

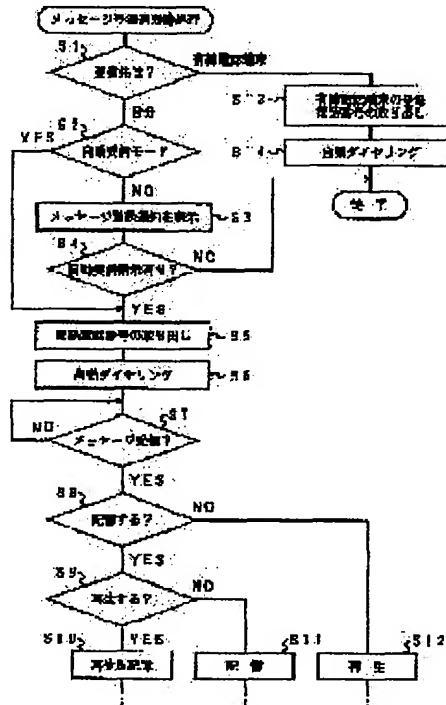
(72) Inventor : NIIMI AKIRA

(54) AUTOMATIC RECEPTION METHOD FOR MESSAGE REGISTERED IN AUTOMATIC ANSWERING TELEPHONE SERVICE, AND EQUIPMENT HAVING PORTABLE TELEPHONE FUNCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically receive a message when an equipment having portable telephone function is informed of the registration of the message by the automatic answering telephone service.

SOLUTION: The telephone number of a host station conducting the automatic answering telephone service is registered in advance in the equipment having the portable telephone function and as the result of registering a message addressed to the equipment in the host station for a period when the communication of the device is disable, when the communication of the device is available and the message registration notice sent from the host station to the device is received, the equipment itself is designated as a message reception destination and the automatic reception mode is set (steps S1, S2), then dialing is made automatically by a telephone number registered to the host station (steps S5, S6), and then the message addressed to the equipment registered in the host station sent from the host station to the equipment is automatically received (step S7).



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.08.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 09.05.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

本局に対して前記電話番号登録手段において、前記電話番号にて自動的にダイヤル発信し、このダイヤル発信によって前記ホスト局から当該ダイヤル発信元の装置に接続された当該装置置場にてのメッセージを前記ホスト局に登録された結果、当該装置が通信手段を介して自動受信する機能手段と組合せることを特徴とする携帯電話機能を持つ装置。
【技術請求項9】 留守番電話サービスを受ける携帯電話機において、
前記装置置場において、
前記装置置場と局との通話をを行う無線手段と、
前記装置置場に接続された電話番号登録手段と、
前記装置置場に接続された前記無線手段が前記ホスト局から当該装置に送られた結果により受信されたメッセージ登録通知が前記無線手段を介して当該装置置場から前記ホスト局に登録されている電話番号にて自動的にダイヤル発信し、このダイヤル発信によって前記ホスト局から当該ダイヤル発信元の装置に接続された当該装置置場にてのメッセージを前記ホスト局に登録された結果、当該装置が通信手段を介して自動受信する機能手段と組合せることを特徴とする携帯電話機能を持つ装置。

【0004】PHSの使用者は、この画面表示等により自己分析でのメッセージが登録されていることと連絡する。PHSでは、メッセージ検索（メッセージ検索）を指示する操作を行うことで、当該PHSの送信者によるメッセージが登録（記録）されている旨を知らせられる。

【0005】上記したように従来の技術においては、PHSの電源オフ時や国外時の着信電話を監視するPHS留守番電話サービスがあるが、当該PHSの電源オン時や国内復帰時においては、その表示がなされない。一方、当該PHSの使用者は、その登録メッセージを聞くには、毎日数分で電話番号でのダイヤル操作を実行なければならず、煩わしいという問題があった。

【0006】本発明は上記の課題を解決するためになされた。

電話端末に行わせるために、上記有線電話端末の電話番号を当該装置内に予め登録しておくと共に、ホスト局の電話番号を上記有線電話端末内に予め登録しておき、上記ホスト局から当該装置にメッセージ登録通知が送られた場合、当該装置から上記有線電話端末に対して当該装置内に登録した電話番号にて自動的にダイヤル発信してメッセージ登録通知をを行うことで、そのダイヤル発信先の有線電話端末からホスト局に対して当該端末内に登録しておいた電話番号にて自動的にダイヤル発信さ
10 れ、このダイヤル発信に応じてホスト局から当該ダイヤル発信元の有線電話端末に送られる上記登録元でのメッセージを当該端末が上記登録に代わって自動受信するようとしたこととする。

10016】本発明においては、ホスト局に登録された携帯電話機端末を持つ装置登録のメッセージの自動受信情報を、当該装置内に登録された電話番号の有線電話端末にて代行させることができる。これにより、有線電話端末にて代行させることは、会社または自宅にある場合、上記装置の使用者は、会社または自宅に戻ってからゆっくりと聞くことが可能となる。ここで有線電話端末には、前記した携帯電話機端末を持つ装置と同様のメッセージ登録機能、更にはメッセージ出力機能、メッセージ登録機能等を持たせればよ
20 うにしたことをも特徴とする。

【0010】なお、ホスト局からのメッセージ登録通知の受信に応じて当該ホスト局に自動的にダイヤル発信する代わりに、ユーザに対してホスト局からのメッセージ登録通知があつた旨を表示する手段により通知を受け付けてを行い、ユーザからの自動受信指示を検出した場合に、ホスト局に対する自動ダイヤリングを行うようにして構成する。

【0011】また、メッセージの自動受信時ににおける、
20

tive Differential Pulse Code Modulation) 等の記録

live Differential Pulse Code Modulation) 等の記録／再生用の IC、及び RAM 等のメモリ (Random Access Memory) により構成され、受信等の信号により記録されたメッセージを復元する。メモリは、ストリップに記録されたメッセージを受信した場合、(よりメッセージ記録モードが設定されているならば) 当該メッセージを上記記録／再生用の IC を用いてメモリに記憶する。

【0023】表示部14は、移動局10の電源オン時や、
屋内停電時におけるボスト角からのメッセージ送受
音に応じたメッセージ送受音表示、メッセージリスト
表示等に用いられるもので、例えは液晶表示器により実
現される。

100-241 入力部15は電話番号等のデータ入力、操作部14に表示されたメモセレジリストからの選択操作、各種モードの設定入力等に用いられるもので、本実施形態では表示装置27と一緒に形成されるタブレット装置により実現される。

100-241 先着部16は電話音声の出力、メモセレジストの出力に用いられ受話器をなすもので、例えばスピーカーを用いて実現される。なお、音声を入力するための送話器（を実現する例えばマイクロホン）は省略されてい

る。

【0026】主メモリ17は、制御部12のワーク領域の他、電話番号登録領域17.1及びモード情報を登録領域17.2等を提供する。電話番号登録領域17.1は、留守電話サービスによりホスト局に登録されたミセージを読み込むために必要な電話番号、受信者電話サービスを提供する電話事業者の指定するホスト局の電話番号等、及び移動局10に代わってメッセージの読み込みを行う装置(ここでは有線電話端末)の電話番号の設定領域等が用いられる。この電話番号登録領域17.1への電話番号

の設定選択は、入力部15を用いたユーザによる所定の入力操作に従って行うことができる。これにより、この電話番号が変更されたり、電話事業者が代わった場合にも、対応が可能となる。

[10027] キード情報基盤構成172は、入力部15を用いたユーザによる入力操作で設定される種々のモ-

トの情報（モード情報）の基盤に用いられる。本実施形態においては主モードリ1.7は書き換えることのため主モードリ1.7リ、例えはRAMで構成される。このため主モードリ1.7には常時電池電源が供給され、移動局の電源オフにより当該主モードリ1.7内の強制リ1.7.1、1.7.2の基盤情報を消滅されないようになっている。なお、書き換可能な不揮発性モモリ、例えはEEPROM（Electrical Erasable and Programmable Read Only Memory）を用い、当該EEPROM内に領域リ1.7.1、1.7.2を確保するならば、常時電池電源を供給する必要はなくなる。1002と1002.1は、本実施形態で実現されるメッセージセグメント構成込みの2つの方式を示す。第1のメッセージ構成込みは、同図（a）に示すように、ホスト端口200から移

動局10へのメッセージ登録通知21がなされた場合

付きPDA) 10の使用者に対してメッセージを自動

シテ再生レ、音声

S付きPDA) 1.0 の使用者に対してメッセージを自動受信するか否かの指示を入力部15から入力するよう要求する。ここで使用者が入力部15を用いてメッセージの自動受信の指示を終了した結果、前編部12がその自動受信指示を検出すると(ステップS4)、主モモリ17内の電話番号登録領域17.1から留守番電話サービスを提供する電話事業者の指定するホスト用2.0の登録

受信時に、その場でメッセージを再生し、音声部13への記憶を行わない使い方に限定する。声情報記憶部13は不要となる。

【0040】次に、メッセージの再生処理について述べる。前回12.1は、メッセージを再生出力するモード情報を音情報部17.2を参照して通常再生設定されているか否かをチェックする(ステップ17.3)

電話番号を取り出し（ステップS5）、無線部11を制御して当該電話番号での自動ダイヤリング（自動ダイヤル）22を行わせる（ステップS6）。よる、メッセージ録音通知があった旨を、表示部14による表示に代えて、表示部14からの個別メッセージを表示する。

- 1).
[00411] もし、連続再生モードが設定され、
らば、前脚部 1.2は受信したメッセージをその
発音部 1.6により連続的に再生出力させる (スヌ
2.2)

に通知することも可能である。

【0035】これに対し、自動受信モードが設定されてい るならば、制御部12はそのまま上記ステップS6に 進んで電話番号登録部17-1からホスト局20の登録 電話番号を取り出し、続いて上記ステップS6に進んで 無線部14により当該電話番号での自動ダイヤリング (自動ダイヤル発信) 22を行わせる。

【0036】ホスト局20は、移動局10からのダイヤ ル発信により、自身が登録しておいた当該移動局10宛 てのメッセージ(音声メッセージ)を基地局を介して当

【0042】これに対し、連続再生モードが選択されないならば、制御部14は受信したメッセージリストを表示部14に表示して、ユーザに対して再送するメッセージを選択指定させる(ステップS5)ここで、選択メッセージは、メッセージリスト位をメッセージで構成されるための情報(例ではリスト)が付されており、メッセージリストは、この識別情報の一覧である。

【0043】ユーザは、メッセージリストが表示されると、入力部15を操作して該当メッセージ

該移動局 10 に送信するメッセージ送信 23 を行う。
【0037】無線部 11 は、ホスト局 20 から送られたメッセージを受信すると、当該メッセージを箇御部 12 に渡す。箇御部 12 は、このホスト局 20 からのメッセージを受け取ると（ステップ 57）、主メモリ 11 内のモード情報領域 17 に記照して、当該メッセージを記憶するモード（メッセージ記憶モード）に設定されているか否かをチェックし（ステップ 58）、メッセージ記憶モードの場合には、更に再生モードに設定されて

リストの中から、自分が聞きたいメッセージの番号を選択する。すると制御部12は、メッセージの発信者によるメッセージ履歴情報の選択指揮を受け、ユーザが選択指定したメッセージを発音する。より再生出力させる。(ステップS24、S26を繰り返す。) 与えられるまで。(ステップS26) 限り返答まで。(ステップS24) また、制御部12は、上記したよ

いるか否かをチェックする（ステップS9）。
10038] 制御部1.2は、メッセージ記憶モードであ
りて且つ再生モードの場合、受信したメッセージ（音声
メッセージ）を音声情報記憶部1.3に記憶すると共に、
当該メッセージを発音部1.6から再生出力する（ステッ
プS10）。また制御部1.2は、メッセージ記憶モード

旨を表示部114に表示する。これにより移動端末付きPDA10の使用者は、メッセージが再構成されない場合でもメッセージが受信されたことを知る。この場合、使用者は、入力部15を用いた操作でメッセージ再生を指示することで、音声情報を記憶されたメッセージを呼び出して聞く。

であつて且つ再生モードでない場合には、受信したメッセージを音声情報記憶部13に記憶するだけで、この時点でメッセージ記憶部13は機能する(ステップS11)。なお、受信メッセージの記憶に、音声情報記憶部13(メモリ)に代えて、オーディオテープ、MD(ミニディスク)等の記憶媒体を用いることも可能である。但し、メモリを用いる場合に比べて小型化が困難となるため、PHS(付きPDA)に要求される携帯性の点で問題がある。

【0039】また制御部12は、メッセージ記憶モードでない場合には(再生モード有無に係るに)、受信したメッセージを弱音部16から再生出力し、音声情報記憶部13への記憶を抑える。このうえメッセージの

きる。ここで、先のメッセージ送信時のみ、
生出力と同一の選択式処理（即ちメッセージの選
択または同一の選択式処理に従う指定メッセージの
生）を行うことができる。

【0045】以上、メッセージ送信先（読み込み先）
移動局10自身、即ちホスト局20からのメッセージ
送信通知先である場合の動作について説明した。こ
そでメッセージ送信先（読み込み先）が、ホスト局2
0メッセージ送信通知先（移動局10）とは別の場
合は、有線電話端末30の場合の動作を説明する。
10045】制御部11は、上記システムが11
10完結のメッセージの受信先として有線電話端
末を指定する。即ち、メッセージ送信先（読み込み先）
がおおきいメッセージを送信する場合、メッセージ
送信通知先（移動局10）または同一の選択式
処理に従う指定メッセージの選択を行う。

[図3]

